

# ☆文豪作品イントロクイズ

次のイントロ（作品の冒頭）とその作者を線で結んでみよう。

A・「高瀬舟」 高瀬舟は京都の高瀬川を上下する小舟である。徳川時代に罪人が遠島を申し渡されると、本人の親類が牢屋敷へ呼び出されて、そこで暇乞いをすることを許された。	•	•	1・島崎藤村
B・「たけくらべ」 廻れば大門の見返り柳いと長けれど、お歯ぐる溝に灯火うつる三階の騒ぎも手に取る如く、明けくれなしの車の行来にはかり知らぬ全盛をうらないて……。	•	•	2・夏目漱石
C・「吾輩は猫である」 吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生まれたか頓と見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。	•	•	3・梶井基次郎
D・「羅生門」 或日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下にはこの男の外に誰もいない。唯、所々丹塗りの剥げた、大きな円柱に、蟋蟀が一匹とまっている。	•	•	4・森鷗外
E・「武蔵野」 「武蔵野の俤は今わずかに入間郡の残れり」と自分は文政年間に出来た地図で見た事がある。	•	•	5・芥川龍之介
F・「野菊の墓」 後の月という時分が来ると、どうも思わずにはいられない。幼い訳とは思うが何分にも忘れることができない。	•	•	6・樋口一葉
G・「山椒魚」 山椒魚は悲しんだ。彼は彼の棲家である岩屋から外へ出てみようとしたのであるが、頭が出口につかへて外へ出ることができなかつたのである。	•	•	7・太宰治
H・「富岳百景」 富士の頂角、広重ひろしげの富士は八十五度、文晁ぶんてうの富士も八十四度くらゐ、けれども、陸軍の実測図によつて東西及南北に断面図を作ってみると、東西縦断は頂角、百二十四度となり、南北は百十七度である。	•	•	8・伊藤左千夫
I・「破戒」 蓮華寺は下宿を兼ねた。瀬川丑松が急に転宿を思い立って、借りることにした部屋というのは、その蔵裏つづきにある二階の角のところ。	•	•	9・国木田独步
J・「檸檬」 えたいの知れない不吉な塊が私の心を始終圧えつけていた。焦燥と云おうか、嫌悪と云おうかー酒を飲んだあとに宿酔があるように、酒を毎日飲んでると宿酔に相当した時期がやって来る。	•	•	10・井伏鱒二

※文字に関しては、新字体を用いています。

〈解答〉

A - 4 、 B - 6 、 C - 2 、 D - 5 、 E - 9  
F - 8 、 G - 10 、 H - 7 、 I - 1 、 J - 3